

リアルタイムOSデバッガ Debugging Extension V.1.08 Release 00 へのリビジョンアップのお知らせ

Debugging Extensionを V.1.07 Release 00 からV.1.08 Release 00 に リビジョンアップしました。
Debugging Extensionは統合開発環境High-performance Embedded Workshopおよび リアルタイムOS
にリアルタイムOSデバッグ機能を追加するソフトウェアです。
製品の詳細はデータシートを参照ください。

1. サポート対象のリアルタイムOSとHigh-performance Embedded Workshop

1.1 リアルタイムOS

- SuperHファミリ用 HI7000/4, HI7700/4, HI7750/4,
HI7300/PX およびT-Kernel
- H8SXファミリ用 HI1000/4
- H8Sファミリ用 HI2000/3

1.2 High-performance Embedded Workshop

V.3以降

V.3より前のバージョンをご使用の場合は、V.3以降にバージョンアップしてください。

ダウンロードサイトで無償オンラインバージョンアップできます。

2. リビジョンアップ内容

2.1 新機能と改善

- (1) RTOSトレースウィンドウへのタスクトレース機能の追加 (T-Kernelを除く)

ユーザプログラムにカーネルのデバッグ機能を組み込まなかった場合にRTOSトレースウィンドウにタスクトレース情報が表示されません。

カーネルのデバッグ機能を組み込んだ場合は、RTOSトレースウィ

ンドウにサービスコールトレース情報が表示されます。

- (2) RTOSトレースウィンドウのサービスコールトレース機能の改善
(HI7000/4、HI7700/4、HI7750/4およびHI2000/3のみ)
サービスコールトレース機能のターゲットトレース*を使用する場合、HI7000/4シリーズでは時間表示、HI2000/3ではカーネルシステムクロック表示が可能です。
* サービスコールの履歴をターゲットメモリに保存する機能
- (3) プログラム実行比率表示の改善
RTOSトレース統計ダイアログボックスのプログラム実行比率表示で、合計時間だけでなく最大、最小および平均時間の表示を可能にしました。
- (4) RTOSトレースウィンドウの有効、無効化機能の追加
有効の場合にRTOSトレース情報の取得および表示が行われます。
初期値は無効になっています。
- (5) キューシートの改善
各ウィンドウのキューシートに表示されるキュー表示最大数の指定を可能にしました。キュー表示最大数が0以外の場合にキュー情報の取得および表示が行われます。
初期値は0になっています。

3. アップデート方法

オンラインアップデート (無償) が可能です。

以下のサイトからV.1.08 Release 00をダウンロードして、インストールしてください。

日本語版

英語版

4. Debugging Extensionをはじめて使用する場合

3項と同様の方法でプログラムをダウンロードして、インストールしてください。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。